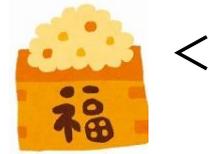


光葉同窓会メールマガジン



2025年2月号

212号 2025.02.03 配信

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」あっという間に2月です。今年目標や計画を意識して、2025年が良い年になるように早め早めの準備をしていきたいですね。

同窓会では3月の大学卒業式で卒業生に贈る記念品の準備が整い、また、来年度の活動に向けての準備がスタートしています。

寒さがまだまだ続きます。冷えから体を守りエネルギーを蓄えて春に向けて体内環境を整えていきましょう。健康的な生活習慣を定着させる三つの柱は「朝食を食べる」「十分な睡眠をとる」「無理なく楽しめる運動」だそうです。どれも自分のペースで無理なく日常生活に取り入れていきたいです。
(常任委員 磯邊まみか)

◇申込み受け付け中!

ワーキングネットワーク キャリアプランニングセミナー開催

第1回「公務員の仕事を知ろう」

日時 2月8日(土) 13:00~15:00 会費: 無料

場所 昭和女子大学8号館ラウンジ

お申し込みは
こちらから



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfaXOIDEXweD2npJaCo0cfYaAktK6sD36WgkUZ6i_OOf-5wHg/viewform?usp=sf_link

◇創業者献花祭壇が設けられます

1974年2月4日は、1920年に本学園を創設された創立者人見圓吉(東明)先生の命日です。先生は、詩人としても活躍されました。建学の精神「世の光となろう」という言葉を託し、現在も受け継がれています。学母として慕われ、61年2月23日に逝去された緑夫人とともに遺影を掲げた献花用の祭壇が設けられます。

献花日時 2月4日(火)・5日(水) 10:00~16:00

場所 「先哲の碑」前



◇支部会開催予定 ・3月8日(土) 東京都西北6区支部

メールマガジンのご感想、ご意見をお寄せください

広げよう光の葉

村田(堅田)智美さん

2018年 初等教育学科卒

小学校教諭を志した先に見つけた適職と今後の目標

私は現在、2人の子どもを育てながら、国家公務員一般職の厚生労働事務官として、労働行政に携わっています。

学生時代は、学業の傍ら、課外活動にも没頭しました。所属していた他大学のインターカレッジサークルでは、200名のメンバーと一致団結してよさこい踊りを披露しに全国各地へ飛び回り、夏休みにはオーストラリアの語学学校へ通う、現地観光をする等、「自分の好き」を追求していました。

「いじめをなくしたい」という思いから小学校教諭を志していた

私は、4年間民間の学童保育施設でのアルバイトで、学童指導員として子どもたちの宿題の見守りや生活習慣定着の指導を行い、また英会話授業の補助講師としてネイティブ講師と協働して授業を行っていました。子どもたちが楽しくも実りある時間を過ごせるよう、卒業論文で「学習意欲の高まる指導方法の在り方」を課題として研究と実践を繰り返し、日々研鑽していました。一方、アルバイトをする中でいじめのないクラスづくりの難しさを痛感しました。子どもたちに道徳心や慈愛の感情を伝えるためには、第一に彼らが保護者などと愛着形成を構築して精神的に安定している必要があると強く感じ、それが契機となり家庭内の愛着関係構築に貢献できる仕事に就きたいと思うようになりました。また、自己理解を深める中で、リーダーシップをとり集団を目標に向けることよりも、それぞれが自身の意思決定に基づきながらも最適な行動を起こせるように一人一人に寄り添いながら支援する方が得意だと気付きました。

そして、現在の労働行政に辿り着いたのです。仕事は、公共職業安定所で職業相談や職業紹介などの就職支援に携わっています。キャリアカウンセリングを行う中で

「世の光となろう」が心の糧となっていることを常々実感しています。来所し相談される方の多くが、家庭生活と職業生活の狭間で、働くという手段や方法に悩みながらも両立に向け尽力されています。私は、相談者の悩みに寄り添いより良い職業設計の支援を行うことで、多くの「家庭」と真摯に向き合っています。家庭内にひとつでも多くの笑顔と愛着を感じられる瞬間を増やすことができればうれしく思います。

就職と結婚を機に徳島県へ移りました。光葉同窓会徳島県支部会に参加した際に、みなさんが私を温かく迎えてくださいましたことを感謝しております。新卒から定年まで勤め上げられた諸先輩方には尊敬の念を抱くとともに、私も定年まで勤め上げ、温かく後輩を迎えられる未来を夢見て、楽しみにしています。【End】

